

経済産業省所管業種の 低炭素社会実行計画の進捗状況

資源・エネルギー業種の進捗状況の概要

流通・サービス業種の進捗状況の概要

電子・電機・産業機械等業種の概要

製紙・板硝子・セメント等業種の概要

鉄鋼業種の概要

化学・非鉄金属業種の概要

自動車・自動車部品・自動車車体業種の概要

資源・エネルギー業種の進捗状況の概要（2016年度実績）

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段:2020年目標 下段:2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段:2020年目標 下段:2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 (万t-CO ₂)	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度における 削減目標の変更履歴
電気事業 低炭素社会協議会	CO ₂ 排出量	BAU	▲700万t-CO ₂	▲620万t-CO ₂	89%	－	－	43,100.0	リストアップ	リストアップ	リストアップ	－
			▲1,100万t-CO ₂		56%							
	CO ₂ 原単位	BAU	－	0.516kg-CO ₂ /kWh	－	－						
			0.37kg-CO ₂ /kWh程度		－							
石油連盟	エネルギー 削減量	BAU	▲53万kl(原油換算)	▲52.6万kl (原油換算)	99%	－	－	3,844.0	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	－
			▲100万kl(原油換算)		53%							
日本ガス協会	CO ₂ 原単位	1990年度	▲89%	▲90%	103%	101%	○	46	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	2017年1月に目標引き上げを実施 2020年目標:▲88.6% → ▲89.1%
			▲88%		105%							
日本鉱業協会	CO ₂ 原単位	1990年度	▲15%	▲23.5%	156.9%	170.6%	○	368.4	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	－
			▲18%		130.3%							
石灰石鉱業協会	CO ₂ 排出量	BAU	▲4,400t-CO ₂	▲4020 t-CO ₂	91%	105.8%	○	26.5	リストアップ	リストアップ	リストアップ	－
			▲5,900t-CO ₂		68%							
石油鉱業連盟	CO ₂ 排出量	2005年度	▲5%	▲5.5%	104.9%	430.5%	○	21.1	リストアップ	リストアップ	リストアップ	2016年12月に目標指標をCO ₂ 排出 量に一本化、目標水準を見直し 2020年目標:2005年度比▲27% → 2005年度比▲5% 2030年目標:2005年度比▲27%→ 2013年度比▲28%
		2013年度	▲28%	▲17.2%	57.6%	－	－					
日本LPガス協会	エネルギー 消費量	2010年度	▲5%	▲7.1%	144.9%	87.7%	○	2.8	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	－	－
			▲9%		74.1%							

（注1）2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

（注2）基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）】

（注3）BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度の目標水準）×100（％）

（注4）「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）】

（注5）「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

（注6）「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

（注7）低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注8）海外での削減貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注9）革新的技術の開発・導入は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

流通・サービス業種の進捗状況の概要（2016年度実績）

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段：2020年目標 下段：2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段：2020年目標 下段：2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 （万t-CO ₂ ）	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度における 削減目標の変更履歴
日本チェーンストア協会	エネルギー原単位 （床面積×営業時間：m2×h）	1996年度	▲24% ▲24%	▲33%	136% 136%	－	－	290.7	リストアップ	－	リストアップ	－
日本フランチャイズ チェーン協会	エネルギー原単位 （売上高：円）	2010年度	▲10% ▲10%	▲12.7%	133.1% 133.1%	218%	○	447.2	リストアップ ・ 定量化	－	－	－
日本ショッピングセンター 協会	エネルギー原単位 （床面積×営業時間：m2×h）	2005年度	▲13% ▲23%	▲35.2%	266.7% 152.4%	－	－	258.0	－	－	－	－
日本百貨店協会	エネルギー原単位 （床面積×営業時間：m2×h）	2013年度	▲6.8% ▲15.7%	▲12.2%	179.1% 77.6%	－	－	151.3	リストアップ ・ 定量化	－	－	2017年1月に基準年度を変更の上、目標水準を見直し 2020年目標：1990年度比▲20%→2013年度比▲6.8% 2030年目標：1990年度比▲38%→2013年度比▲15.7%
大手家電流通協会	エネルギー原単位 （売場面積：m2）	2006年度	▲46.2% ▲49.1%	▲45.7%	99.0% 93.1%	101.4%	○	70.3	リストアップ	－	－	2016年10月に目標引き上げを実施 2020年目標：▲44%→▲45.7%
情報サービス産業協会	【オフィス系】 エネルギー原単位 （床面積：m2） 【データセンタ系】 エネルギー原単位 （サーバー等のIT機器の消費 電力に対するデータセンター 全体の消費電力）	2006年度	▲2% ▲5.1%	▲32.8%	1673% 642%	3848%	○	11.5	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	－
		2006年度	▲5.5% ▲7.8%	▲7.0%	129.3% 89.4%	148%		52.2				
日本チェーンドラッグストア協会	エネルギー原単位 （床面積×営業時間：m2×h）	2013年度	▲19% ▲26%	▲18.6%	98.1% 71.8%	107.4%	○	158.9	－	－	－	2017年3月に基準年度を変更の上、目標水準を見直し 2020年目標：2005-13年度平均比▲8%→2013年度比▲19% 2030年目標：2005-13年度平均比▲11%→2013年度比▲26%
日本DIY協会	エネルギー原単位 （床面積×営業時間：m2×h）	2004年度	▲15% ▲25%	▲52.8%	352.1% 211.3%	－	－	46.5	リストアップ ・ 定量化	－	－	－
日本貿易会	エネルギー原単位 （床面積：m2）	2009年度	▲15.3% ▲19.0%	▲28.9%	222.4% 171.9%	－	－	4.0	リストアップ	リストアップ	－	－
リース事業協会	エネルギー原単位 （本社床面積：m2）	2009年度	▲10% ▲20%	▲21.8%	216.9% 108.9%	320.5%	○	1.6	リストアップ ・ 定量化	－	－	－

（注1）2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

（注2）基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）】

（注3）BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度の目標水準）×100（％）

（注4）「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）】

（注5）「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

（注6）「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

（注7）低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注8）海外での削減貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注9）革新的技術の開発・導入は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

電子・電機・産業機械等業種の進捗状況の概要（2016年度実績）

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段：2020年目標 下段：2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段：2020年目標 下段：2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 （万t-CO ₂ ）	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度における 削減目標の変更履歴
電機・電子温暖化対策連絡 会	エネルギー 原単位改善 率	2012年度	▲7.73%	▲13.22%	171%	－	－	1,397.8	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	－
			▲16.55%		80%							
日本ベアリング工業会	CO ₂ 原単位	1997年度	▲23%	▲23.9%	104.0%	94.2%	○	78.0	リストアップ	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	－
			▲28%		85.4%							
日本産業機械工業会	エネルギー 原単位	2008～2012年 度5か年平均（暫 定目標）	年平均▲1%	▲13.0%	172.7%	－	－	55.4	リストアップ	－	－	－
	CO ₂ 排出量	2013年度	▲6.5%	▲7.5%	115.4%	－	－					
日本建設機械工業会	エネルギー 原単位	2008～2012年 度5か年平均	▲8%	▲20.5%	256%	－	－	40.9	リストアップ ・ 定量化	－	－	－
		2013年度	▲17%	▲5%	30.1%							
日本工作機械工業会	エネルギー 原単位	2008～2012年 度5か年平均	▲7.7%	▲17.1%	222.9%	433.9%	○	33.4	リストアップ	－	リストアップ ・ 定量化	－
			▲12.2%		140.5%							

（注1）2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

（注2）基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）】

（注3）BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度の目標水準）×100（％）

（注4）「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）】

（注5）「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

（注6）「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

（注7）低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注8）海外での削減貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注9）革新的技術の開発・導入は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

製紙・板硝子・セメント等業種の進捗状況の概要(2016年度実績)

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段:2020年目標 下段:2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段:2020年目標 下段:2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 (万t-CO ₂)	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度・2017年度における 削減目標の変更履歴
日本製紙連合会	CO ₂ 排出量	BAU	▲139万t-CO ₂ ▲286万t-CO ₂	▲324万t-CO ₂	233% 113%	-	-	1,796	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	-
セメント協会	エネルギー 原単位	2010年度	▲39MJ/t-cem ▲49MJ/t-cem	▲3.2%	287% 229%	-	-	1,696	リストアップ ・ 定量化	-	リストアップ ・ 定量化	-
日本印刷産業連合会	CO ₂ 排出量	2010年度	▲8.2% ▲16.9%	▲13.4%	163.2% 78.9%	268%	○	128.9	リストアップ	リストアップ	リストアップ	-
日本染色協会	CO ₂ 排出量	1990年度	▲59% ▲59%	▲71%	121% 120%	106%	○	109.2	リストアップ	-	-	2017年7月に目標引き上げを実施 2020年目標:▲53%→▲59% 2030年目標:▲51%→▲59%
板硝子協会	CO ₂ 排出量	1990年度	▲35% ▲49%	▲41%	113.9% 85.2%	-	-	105.8	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	-
日本ガラスびん協会	CO ₂ 排出量	2012年度	▲10.2% ▲18.4%	▲3.7%	36.4% 20.1%	58.2%	○	83.1	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	-
	エネルギー 消費量	2012年度	▲12.7% ▲20.7%	▲7.4%	58.3% 35.9%	82.4%	○					
日本レストルーム工業会	CO ₂ 排出量	1990年度	▲35%	▲60.7%	173.3%	-	-	19.5	リストアップ ・ 定量化	-	-	-
	CO ₂ 原単位	1990年度	▲49%	▲53.2%	108.7%							
プレハブ建築協会	CO ₂ 原単位	2010年度	▲10% ▲10%	▲3.3%	33.3% 33.3%	54.4%	○	13.7	リストアップ ・ 定量化	-	リストアップ ・ 定量化	-

(注1)2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】=(当年度のBAU-当年度の実績水準)／(2020年度の目標水準)×100(%)

(注4)「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注5)「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

(注6)「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

(注7)低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注8)海外での削減貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注9)革新的技術の開発・導入は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

鉄鋼業種の進捗状況の概要（2016年度実績）

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段：2020年目標 下段：2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段：2020年目標 下段：2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 （万t-CO ₂ ）	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度における 削減目標の変更履歴
日本鉄鋼連盟	CO ₂ 排出量	BAU	▲300万t-CO ₂ ＋廃プラ実績分*	▲246万t-CO ₂	82%**	－	－	18,257	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	－
			▲900万t-CO ₂		27%							

（注1）2016年度実績及び2017年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

*500万t-CO₂削減目標の内、省エネ等の自助努力に基づく300万t-CO₂の達成に傾注しつつ、廃プラ等については2005年度に対して集荷量を増やすことが出来た分のみを、削減実績としてカウントする。

（注2）「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度の目標水準）×100（％）】

**自助努力に基づく300万t-CO₂に対する進捗率。

（注3）「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比【BAU目標】＝（当年度の削減実績）／（2020年度の目標水準）×100（％）】

（注4）「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

（注5）「CO₂排出量2016年度実績」は調整後排出係数に基づき算定。

（注7）低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ・定量化、－（検討中）と表記

（注8）海外での削減貢献は、リストアップ・定量化、－（検討中）と表記

（注9）革新的技術の開発・導入は、リストアップ・定量化、－（検討中）と表記

化学・非鉄金属業種の進捗状況の概要(2016年度実績)

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段:2020年目標 下段:2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段:2020年目標 下段:2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 (万t-CO ₂)	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度における 削減目標の変更履歴
日本化学工業協会	CO ₂ 排出量	BAU	▲150万t-CO ₂ ▲200万t-CO ₂	▲368万t-CO ₂	245% 184%	624%	○	5,931.0	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	-
石灰製造工業会	CO ₂ 排出量	BAU	▲15万t-CO ₂ ▲27万t-CO ₂	▲23.6万t-CO ₂	157% 87%	-	-	224.7	リストアップ ・ 定量化	-	-	-
日本ゴム工業会	CO ₂ 原単位	2005年度	▲15% ▲21%	▲8.2%	54.6% 39.0%	-	-	193.2 (155.3*)	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	-
日本アルミニウム協会	エネルギー 原単位 (圧延量: t)	BAU	▲0.8GJ/t ▲1.0GJ/t	▲1.0GJ/t	125% 100%	-	-	144.1	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	-
日本電線工業会	エネルギー 消費量	1990年度	▲26% ▲27%	▲37.5%	146.6% 137.3%	136.5%	○	84.5	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	リストアップ	-
日本伸銅協会	エネルギー 原単位	BAU	▲1%以上 ▲1%以上	▲3.4%	335.4% 335.4%	-	-	44.9	リストアップ	-	リストアップ	-
炭素協会	CO ₂ 原単位	2010年度	▲2.5% ▲5.0%	▲5.4%	218.0% 108.0%	-	-	52.0	-	-	-	-

(注1)2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率＝(基準年度の実績水準－当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準－2020年度の目標水準)×100(%)】

(注3)BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】＝(当年度のBAU－当年度の実績水準)／(2020年度の目標水準)×100(%)

(注4)「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝(基準年度の実績水準－当年度の実績水準)／(基準年度の実績水準－当年度の想定した水準)×100(%)】

(注5)「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

* 日本ゴム工業会が実績評価に採用している火力原単位方式で算定した場合。

(注6)「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

(注7)低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ(定量化含む)、－(検討中)と表記

(注8)海外での削減貢献は、リストアップ(定量化含む)、－(検討中)と表記

(注9)革新的技術の開発・導入は、リストアップ(定量化含む)、－(検討中)と表記

自動車・自動車部品・自動車車体業種の進捗状況の概要（2016年度実績）

	目標指標	基準年度 ／BAU	削減目標 上段：2020年目標 下段：2030年目標	2016年度実績	進捗率 上段：2020年目標 下段：2030年目標	想定比	2017年度 の見通し	CO ₂ 排出量 2016年度実績 (万t-CO ₂)	低炭素製品・サービス 等による他部門での 貢献	海外での 削減貢献	革新的技術の 開発・導入	2016年度・2017年度における 削減目標の変更履歴
日本自動車工業会・ 日本自動車車体工業会	CO ₂ 排出量	1990年度	▲35%	▲33%	95%	－	－	657.0	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	2016年10月に目標引き上げを実施 2020年目標：▲28% → ▲35% 2030年目標：▲33% → ▲38%
			▲38%		89%							
日本自動車部品工業会	CO ₂ 原単位	2007年度	▲13%	▲12.5%	95.7%	－	－	695.4	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	リストアップ ・ 定量化	－
			▲20%		62.3%							
日本産業車両協会	CO ₂ 排出量	2005年度	▲37.5%	▲44.2%	118%	96.0%	○	4.3	リストアップ ・ 定量化	リストアップ	－	－
			▲40%		111%							

（注1）2016年度実績について、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

（注2）基準年度目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－2020年度の目標水準）×100（％）】

（注3）BAU目標の「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。進捗率【BAU目標】＝（当年度のBAU－当年度の実績水準）／（2020年度の目標水準）×100（％）

（注4）「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比＝（基準年度の実績水準－当年度の実績水準）／（基準年度の実績水準－当年度の想定した水準）×100（％）】

（注5）「CO₂排出量」は調整後排出係数を用いた。

（注6）「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画において目標を変更した年度及びその水準。

（注7）低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注8）海外での削減貢献は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記

（注9）革新的技術の開発・導入は、リストアップ（定量化含む）、－（検討中）と表記